

事務事業名		排水ポンプ車導入及び水防倉庫整備事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室			
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	危機管理G	課長名	安部昭彦			
	施策名	(17)消防・防災対策の推進		担当者名	菊地隆克	電話番号	0854-40-1027 (内線) 3544			
	目的:対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。						
	基本事業名	(050)防災施設の整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的:対象	市民	意図	被害にあわない、拡大しないように防災施設を整備する。				中事業	中事業名		
				0	1	4	5	0	5	災害対策施設整備事業
				0	5	2	5	0	1	災害対策施設整備事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
三刀屋川など市内の内水氾濫の対応策として、排水ポンプ車(毎分30t排水)1台(8t)を整備する。 併せて、本車輛を格納できる水防倉庫1棟(58.50㎡)を整備する。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 排水ポンプ車購入(1台) 排水ポンプ(30㎡/min)口径:φ200mm 7.5㎡/min ×4台 排水ホース 口径200mm×20m 8本、口径200mm×10m 4本 発動発電機1台、可搬型照明装置1台 三刀屋水防倉庫兼車庫の建設工事(1棟) 工事場所:雲南市三刀屋町三刀屋地内 敷地面積:483.13㎡ 構造・階数:木造、平屋建て 建築面積:58.50㎡	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 排水ポンプ車作動点検業務(1台) 排水ポンプ車稼働業務(1台) 排水ポンプ車両及びポンプの点検(1台)				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 排水ポンプ車の整備台数	台			1	
	イ 水防庫建設	棟			1	
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	市民	ア 市民	人			39,472	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	浸水被害の低限を図る。	ア 内水の排水能力	t/毎分			30	
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
排水ポンプ車の購入(1台)41,580千円 排水ポンプ車中間検査旅費111千円 三刀屋水防倉庫建設工事設計業務572千円 三刀屋水防倉庫建設工事13,538千円	財源内訳	千円			36,143	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			18,300	
	その他	千円				
	一般財源	千円			1,358	
	事業費計(A)	千円			55,801	
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	時間			419	
	延べ業務時間	千円			1,629	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			57,430	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年のゲリラ豪雨による災害が発生していることから、内水氾濫の対応策として、排水ポンプ及び発電機を積載した車両の導入を要する。	県所有の毎分30トンの排水能力を持つ排水ポンプ車1台と三刀屋総合センターが依頼している協力事業者がリリースする毎分24トンの排水能力のポンプを現地に配備する体制を県と協調して整えている。	三谷川・新田川の水位の上昇で、内水氾濫となり、床下浸水の恐れもあることから、氾濫対策を要する。経験したことのない豪雨が頻発する中、三谷川、新田川、三谷川の3河川へ同時対応できるのかという意見がある。県への固定式排水ポンプの設置を要望している。

事務事業名	排水ポンプ車導入及び水防倉庫整備事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	移動が可能となることから、三谷川・新田川は基より、市内全域への対応が可能となる。 また、排水ポンプ車の保管車庫（水防倉庫）も三谷川・新田川に近く、直ちの対応が可能となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	県管理河川の三谷川・請川に固定型の排水ポンプ施設が整備されれば、排水ポンプ車の運用が軽減される。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	必要最小限度の事務である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
雲南市が保有する排水ポンプ車の導入により、全市への対応が可能となった。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上		●																					
維持			×																				
低下		×	×																				
<p>更なる島根県との連携により浸水被害対策を図る。          固定ポンプを引き続き要望する。          排水ポンプ車の運転及び操作等の災害時の応急対策業務等の協定を早期に協力会社と締結し、年2回程度の訓練又は、実排水運転点検等を行い、災害時に迅速な対応ができる体制の構築を図る。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					